

ナンバリングについて

シラバスに記されている「科目コード」は「ナンバリング」を意味しています。

「ナンバリング」とは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。

文部科学省が「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にて次のような答申を出しました。

『ナンバリング、あるいはコース・ナンバリング。授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み。1 大学内における授業科目の分類、2 複数大学間での授業科目の共通分類という二つの意味を持つ。対象とするレベル(学年等)や学問の分類を示すことは、学生が適切な授業科目を選択する助けとなる。また、科目同士の整理・統合と連携により教員が個々の科目の充実に注力できるといった効果も期待できる。』

○本学の「ナンバリング」は次の要素を組み合わせて付しています。

<例>

- ・ 学科情報 SH 食物 JI 児童 FU 福祉 EI 栄養 YO 幼教 SE 専攻科
- ・ 学年情報
- ・ 学期情報 1 前期 2 後期 3 通年 4 集中
- ・ DPの要素情報 0 1～ (表1)
- ・ 科目分類情報 K 教養・基礎科目 S 専門教育科目 B 別表科目
- ・ 区分情報 各学科で定める教育上の区分情報 (表2)
- ・ 必修情報 1 必修 2 選択必修 3 選択
- ・ 科目情報 (学則の並び順による連番)

例えば、栄養学科1年次前期に開講される、「現代生活論」の場合は、次のようになります。

- ・ 学科情報：EI ・ 学年情報：1 学期情報：1
- ・ DPの要素：1②
- ・ 科目区分情報：K ・ 区分情報：B ・ 必修情報：3
- ・ 科目情報：007

よって「現代生活論」のナンバリングは「EI12-1②-KB3-007」となります。

このナンバリング情報を参照することで、学科、学年、開講時期、科目分類や必修・選択の情報の他、ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針・修了認定の方針) との関係や、科目の区分情報などを確認することができます。

※表1 ディプロマ・ポリシーの要素情報

※表2 各科目の区分情報・科目情報

(表1) ディプロマ・ポリシーの要素情報

【栄養学科】

	分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング	
①	1. 関心・意欲・態度	1) 栄養士が果たすべき専門領域に関する基本となる能力を養い、栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につける。	1①	1①
②	2. 思考・判断	1) 栄養士として柔軟に対応出来る思考力・観察力・判断力を身につける。	2②	2③
③		2) 社会人として柔軟に対応出来る思考力・観察力・判断力を身につける。	2③	2④
④	3. 技能・コミュニケーション	1) 栄養士として求められる技能および実践的な能力を修得する。	3④	3⑤
⑤		2) 社会人として求められる広い視野を養う。	3⑤	3⑥
⑥	4. 知識・理解	1) 栄養士が果たすべき専門領域に関する知識を身につける。	4⑥	4⑦
⑦		2) 給食の運営を行うための実践的能力を身につける。	4⑦	4⑧

【幼児教育学科】

	分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング	
①	1. 関心・意欲・態度	1) 子どもや障がい者の人権を尊重し、共に学ぶ姿勢や態度を身につけること。	1①	
②		2) 地域の環境や文化に関心を持ち、社会人として求められる広い視野で実践、研究すること。	1②	
③	2. 思考・判断	1) 卒業後職場において力を発揮できる、子どもや保育に関する思考力を身につけること。	2③	
④		2) 社会人として求められる広い視野で思考し、判断すること。	2④	
⑤	3. 技能・表現	1) 保育者として求められる豊かな表現力とコミュニケーション能力を身につけること。	3⑤	
⑥		2) 保育者として求められる実践的な教育や支援ができる能力を持つこと。	3⑥	
⑦	4. 知識・理解	1) 保育・幼児教育についての専門的な知識や理論を修得すること。	4⑦	
⑧		2) 保育者として求められる、子ども及び子どもの文化の理解ができること。	4⑧	

【専攻科】

	分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング	
①	1. 関心・意欲・態度	1) 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観や態度を養う。	1①	
②		2) 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。	1②	
③	2. 思考・判断	1) 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を活用して対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程の展開ができる能力を身につける。	2③	
④	3. 技能・表現	1) 介護を実践する対象へ様々な場面で必要とされる安全な介護の基本的技術と医療的ケアの技術を身につける。	3④	
⑤		2) 本人・家族との信頼関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの基礎的な知識・技術を身につける。	3⑤	
⑥	4. 知識・理解	1) 身体的・心理的・社会的側面を統合的に捉え、介護実践の根拠とするための基礎知識を身につける。	4⑥	

(表2) 区分情報・科目情報<栄養学科>

区分	授業科目	No	必修・選択	科目情報
導入科目	1年次セミナー	A	必修	001
教養・基礎科目	日本語リテラシー	B	選択	002
	心理学概論		選択	003
	食文化論		選択	004
	基礎化学		選択	005
	基礎生物学		選択	006
	SDGs		現代生活論	選択
キャリア科目	ボランティア論(教育系)	選択	008	
	ボランティア論(福祉系)	選択	009	
	インターンシップ実習	選択	010	
	ボランティア実習	選択	011	
エンス科目 データサイ	情報リテラシー I	D	選択必修	012
	情報リテラシー II		選択必修	013
	調査と統計		選択必修	014
外国語科目	英語コミュニケーション I	E	選択	015
	英語コミュニケーション II		選択	016
	英語資格認定 I		選択	017
	英語資格認定 II		選択	018
	留学生日本語 I		選択	019
	留学生日本語 II		選択	020
スポーツ健康科目	スポーツ健康講義	F	選択	021
	スポーツ健康実習		選択	022
防災関連科目	災害を知る	G	選択	023
単位互換科目	放送大学科目 I	H	選択	024
	放送大学科目 II		選択	025

区分	授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
社会 健康 生活と	公衆衛生学	A	必修	026
	社会福祉概論		選択	027
	食生活論		必修	028
人体の 構造と 機能	解剖生理学 I	B	選択	029
	解剖生理学 II		選択	030
	病理学		選択	031
	生化学 I		選択	032
	生化学 II		選択	033
	生化学実験		選択	034
食品と 衛生	食品学 I	C	必修	035
	食品学 II		必修	036
	食品学実験 I		選択	037
	食品学実験 II		選択	038
	食品学実習		選択	039
	食品衛生学		必修	040
栄養と 健康	食品衛生学実験	選択	041	
	基礎栄養学 I	D	必修	042
	基礎栄養学 II		選択	043
	応用栄養学		必修	044
	応用栄養学実習(栄養学実習)		選択	045
	臨床栄養学概論		選択	046
臨床栄養学実習	選択		047	
栄養の 指導	公衆栄養学概論	E	選択	048
	栄養指導論		必修	049
	栄養指導論実習		選択	050
	食事摂取基準論		選択	051
給食の 運営	給食計画論	F	選択	052
	給食実務論		選択	053
	給食献立作成実習		選択	054
	給食管理実習 I		選択	055
	給食管理実習 II		選択	056
	学外実習指導		選択	057
	調理学		必修	058
	基礎調理学実習		必修	059
	調理学実習 I		必修	060
	調理学実習 II		選択	061
食料経済	G	選択	062	
栄養情報処理演習 I		選択	063	
栄養情報処理演習 II		選択	064	
栄養学特別演習		選択	065	